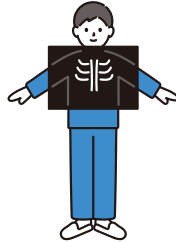


早く見つけるには「がん^{けんしん}検診」が大事

- 「がん」が大きくなる前に見つけることができれば、治る可能性が高くなります。「がん」を早く見つけるために必要なのが「がん検診」です。
- 「がん検診」では、「がん」の種類によっていろいろな検査（けんさ）をして、「がん」の細胞がないかを調べます。
- 「がん検診」で「がん」があるかもしれないとなった人は、くわしい検査をします。「がん」を見つけるためにはくわしい検査まで受けることが大事です。



大人になったら「がん検診」を受けよう！

周りにがんの人がいたら？

- もし家族や友だちががんになっても、その人は前と同じ、その人のままです。がんになった人の多くは、前と同じように話しかけてほしいと思っています。
- がんのことを正しく知り、みんなで助けあいながら、一緒にくらししていける社会をつくっていきましょう。



知ってみよう！

が ん のこと

「がん」ってどんな病気？

どんな人がかかるの？

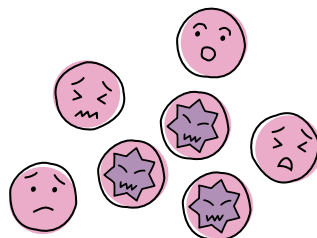
「がん」にならないためには
どうしたらいい？



山梨県教育委員会

「がん」ってどんな病気？

- 人の体は、たくさんの小さな「細胞（さいぼう）」でできています。ときどき、こわれた細胞ができることがあります、体にわるいものを「がん」といいます。
- 元気な人の体でも「がん」の細胞はできますが、「免疫（めんえき）」がみつけてやっつけています。
- でも、年をとるなどして免疫がよわくなると、がんの細胞がどんどんふえてしまうことがあります。

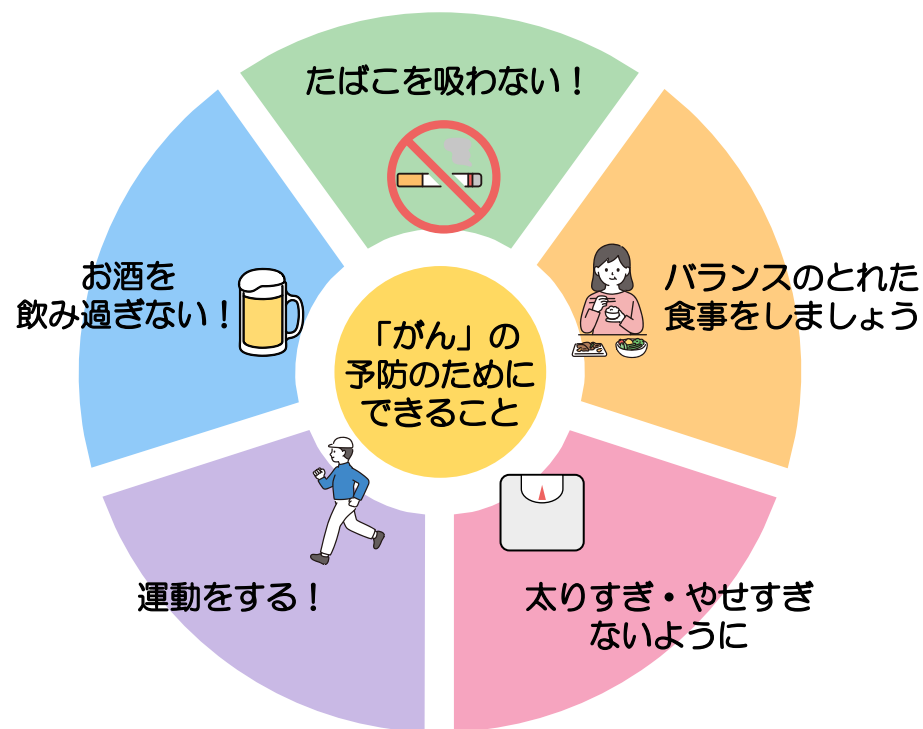


「がん」になる人はどのくらいいるの？

- がんはとても多くの人になる病気で、一生のうちに2人に1人が「がん」になるといわれています。
- 日本人が亡くなる原因の1位は「がん」です。
- 多くの人になる「がん」ですが、早く見つけることができれば、手術や薬で治る可能性が高くなります。

「がん」にならないために

- 「がん」になる理由は、毎日の生活のしかた（生活習慣）や、ばい菌（細菌）やウイルスにかかること、生まれつきの体のちがいなど、いろいろあります。
- そのため、体によい生活をすること、病気にかからないように気をつけることを心がけると、がんになる可能性をへらすことができます。



- 「がん」の中には、ワクチンをうつことで予防ができるがんもあります。
- 子宮頸（しきゅうけい）がんを防ぐ「HPVワクチン」は、小学校6年生から高校1年生の女の子がうつことができます。